

労働安全衛生講習会 保護具の適正使用・労災と企業責任

公益社団法人神奈川県産業廃棄物協会/安全衛生協議会・研修委員会・青年部会

神奈川県労働局によれば、県内の産業廃棄物処理業の労働災害は昨年以上のペースで発生しており、各社での労災防止対策の強化が急務となっています。

産業廃棄物処理業の労災の特徴としては、1月以上の休業が6割近くを占めるというように重症化傾向を示しており、また経験年数1年未満の方の労災が1/3を超えるなど、他業種に比べて経験年数の少ない労働者の労災が多いことが特徴となっています。

そこで、労災の発生防止のための保護具であるヘルメットや安全帯、マスク、手袋などの選定方法と実際の装着方法や処理現場での実例から効果的な利用方法を学び、実際に体験していただくための講習会を開催することとしました。あわせて、労災が企業にとってどのような大きなダメージをもたらすかについても実例をもとに学び、各社における今後の労災防止対策の参考にしていただきたいと思います。

今回、会場においては、講演会に先立って保護具の展示と使い方の説明を行い、講演後には装着体験なども行う予定ですので、各社の労働安全衛生の責任者や現場の担当者の方など、多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

- 日程 平成 26 年 12 月 12 日(金) 13:00 から
- 場所 波止場会館 5 階 多目的ホール 横浜市中区海岸通 1-1 TEL:045-201-3842
- 保護具の展示と説明 13:00～14:00
- 講演会 演題／講師 14:00～17:00
 - (1) 「保護具の選定のポイントと適正使用方法」
講師 小島 道夫 氏(JSAA 保護具インストラクター、公益社団法人日本保安用品協会 上席技術主管)
 - (2) 「産業廃棄物の処理現場に適した保護具の利用」
講師 二階堂 久 氏(労働安全コンサルタント、一般社団法人日本労働安全コンサルタント会神奈川支部)
 - (3) 「労災と企業責任」
講師 株式会社インターリスク総研 災害リスクマネジメント部員
 - (4) 質疑応答・装着の実技指導
会場の展示場所で質疑と装着指導・体験を行います。
(当日の演題等については変更になる場合があります。)
- 定員 60 名(申込先着順)入場無料、受講者には「修了証」をお渡しいたします。
(会場の都合により、参加希望者が多数の場合はお断りすることがありますので、早めにお申し込みください。)

裏面の申込書にご記入いただき FAX(045-641-8114)で 11 月 28 日までにご送信ください。

公益社団法人神奈川県産業廃棄物協会

「保護具の適正使用・労災と企業責任」

講習会参加申込書

開催日：12月12日(金)

13時から展示説明・14時から講習会

住所
電話番号
会社名
参加者 氏名

(公社)神奈川県産業廃棄物協会 行き

申込み締切り：11月28日

ファクシミリ番号 045-641-8114

E-mail info@kiwa.or.jp